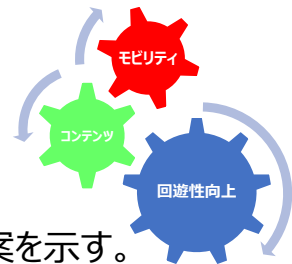


# モビリティ利活用WG(2021年度検討報告)

## 2021年度検討とりまとめ



2021年度のゴールに向けて2つのPTの取組みを中心に整理した。

(域内交通の最適化に向けて)

### ■モビリティの整備だけでは回遊性は向上しない。

移動する目的である「コンテンツ」と「モビリティ」の整備を両輪として回遊性向上に取り組む必要がある。以下具体案を示す。

<p>コンテンツ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツとしてはイベント、ユースケース、電子チケット、割引サービスなど幕張新都心の住民生活を便利にするものと、来街者を迎え入れる両面の仕組みづくりが必要</li> <li>各施設を可視化し、日々の生活や来街者についてのユースケースを描く(深掘りする)。 = 便利で持続可能な移動環境を構築するため、日々のユースケースからふさわしいモビリティを考える。</li> <li>来街者を呼び込むきっかけとして、イベント、電子チケット、割引サービスなどの実施を検討したい。 また、イベント実施にあたっては、地域で協力し、幕張新都心地区内の回遊を促す仕掛けを取り込んだものとする。 (例 イベントのイメージは①複数イベントの同時開催、②街全体を一つのテーマでジャックするといったもの。)</li> </ul>	<p>イベント、電子チケット、割引サービスもユースケースの一部 ※イベントは毎日開催できるものではなく、<b>イベント開催日以外の回遊性向上についても重要な課題</b></p>
<p>モビリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記コンテンツの考えを踏まえ、日々のユースケースからふさわしいモビリティを考える。</li> <li>エリア内には、広範囲に飲食、買い物、生活施設が点在しているため、既存モビリティではカバーしきれていない部分がある。 →既存モビリティと補完し合うものとして、<b>循環バス、直通バス(幕張駅~海浜幕張駅)、オンデマンド交通</b>を導入してはどうか。</li> <li>電車やマイカーで幕張新都心まで来て、エリア内は公共交通機関を利用して移動していただくことで、街の回遊性向上、消費の拡大、渋滞解消につながる。</li> </ul>	<p>シェアサイクルの活用や新たに駐車場のシェアリングサービスも検討し、他モビリティからの移動を補完する。</p>



## 2021年度検討とりまとめ（成果物）

### （域内交通の最適化に向けて）

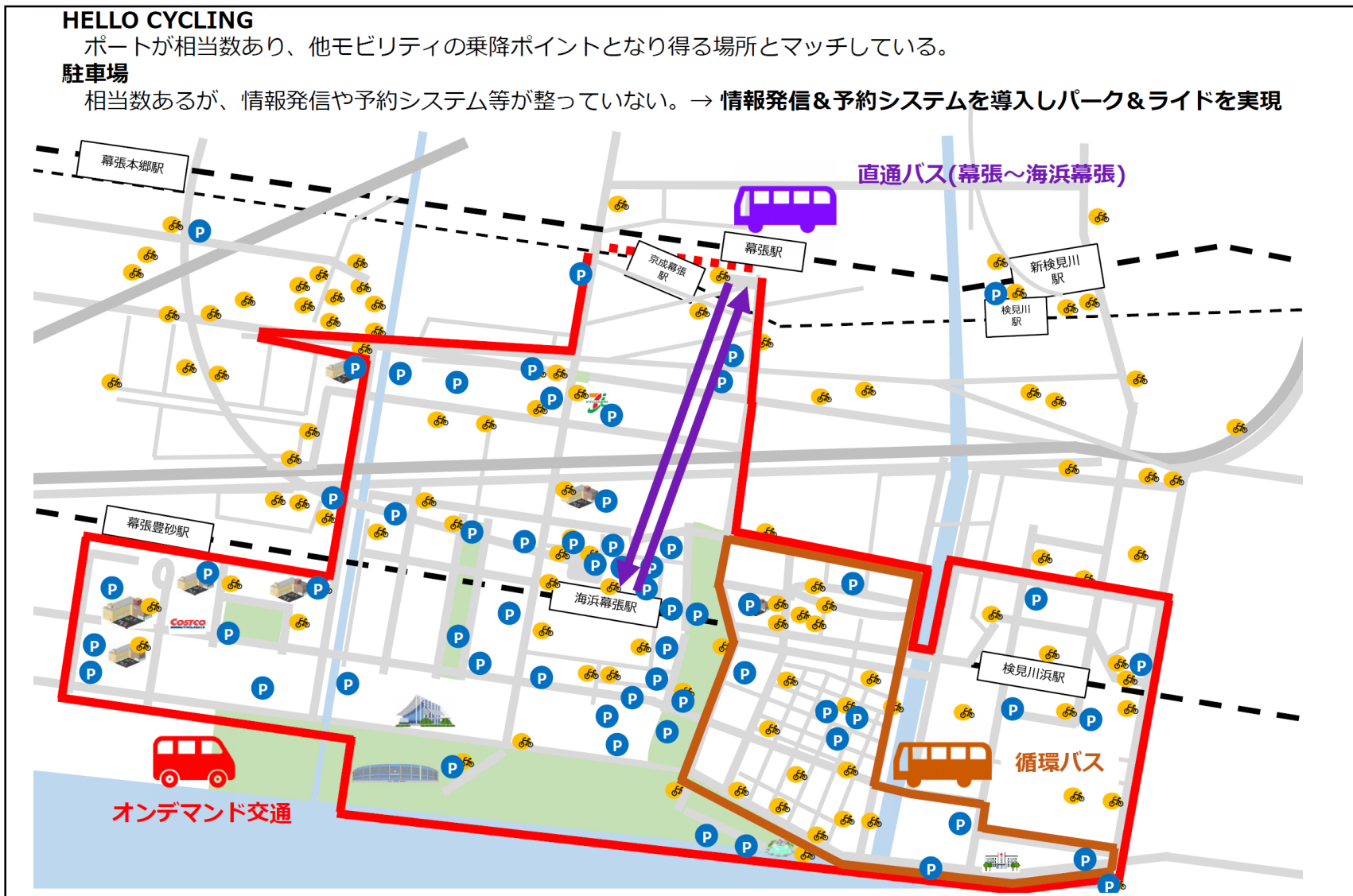
回遊性向上を図るために、2022年度に予定されているMaaS実証実験において検証すべきモビリティのイメージ案は以下のとおり。

#### HELLO CYCLING

ポートが相当数あり、他モビリティの乗降ポイントとなり得る場所とマッチしている。

#### 駐車場

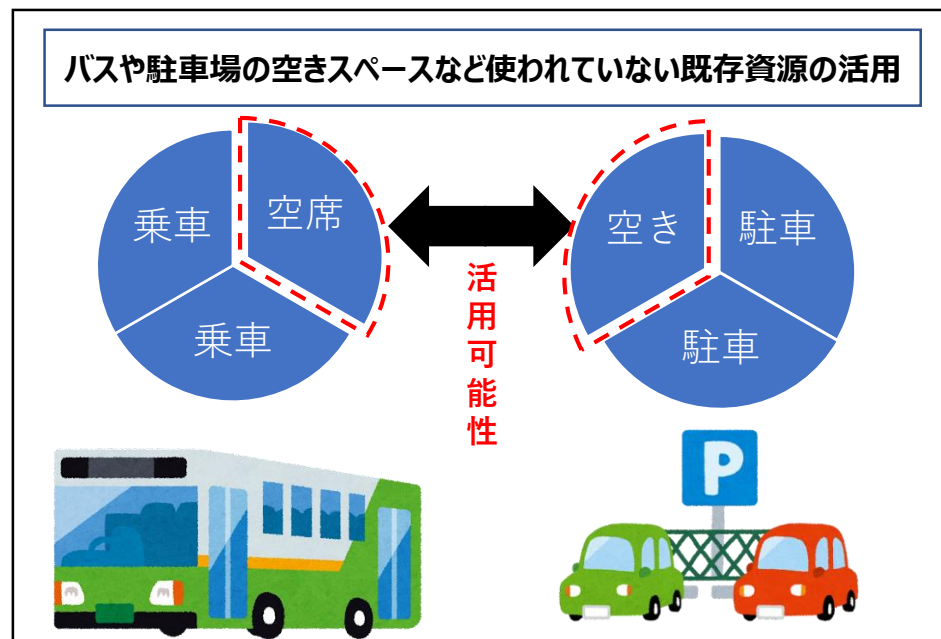
相当数あるが、情報発信や予約システム等が整っていない。→ 情報発信&予約システムを導入しパーク&ライドを実現



## 2021年度検討とりまとめ

### (各団体の課題や資源、ニーズの把握)

- ヒアリングシートから、幕張新都心で活動する中で抱える「移動」に関する課題として、「施設間の移動困難」、「駐車場が不足」、「イベント時に混雑が発生」、「モビリティの利用方法がわからない」、「イベント以外に来訪目的がない」といった課題が多いことがわかった。  
これらの課題解決に有効と考える取組みとして、「デマンドバス」と「マイクロモビリティ」、「施設間で協力し合うバス」、「モビリティが一目でわかる案内・MaaSの導入」、「駐車場の利活用」の取組みが多いことが可視化された。
- ヒアリングの結果、「シェアサイクル」と「送迎バス」が各施設にとって評価の高い交通手段であることが分かった。
- 成果物となる**モビリティ資源等の可視化資料をGoogleマイマップで作成する。**
- 課題は以下の3つに分類された。
  - ①バスの空席や駐車場の空きなど使われていない既存資源の活用を検討する（例 閑散期のイベント施設やホテル、送迎バスの活用）。
  - ②バスルート被りやシェアサイクルポートの配置など既存資源の効率化を再考する（例 アパホテルと湯楽の里のバスの共同運行）。
  - ③時間帯別利用者数等を把握した上で共同運行を分析した結果、午前中は施設から駅行き、夕方は駅から施設行きが少ないことがわかった。
- 買い物の際の荷物や施設周辺の渋滞解消のため、パーク＆ライドの可能性を検討するものとし、取り組む場合の課題として、土地所有者からの許可・使用料の分担方法・出入口の安全確保があると整理した。



## 2021年度検討とりまとめ (成果物)

### (各団体の課題や資源、ニーズの把握)

■ P T 事業者間で課題を共有することにより見えたモビリティ資源の最適化・共有化の具体案（素案）について、以下のとおりまとめた。

<b>具体案</b>	<b>閑散期の駐車場をモビリティステーションとして活用</b>
<b>理由</b>	既に車両走行や周辺からのアクセスに適した環境が整備されているにも関わらず活用されていない資源を、近隣施設への回遊を促進する拠点として活用できるため。
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場の管理者及び土地の所有者からの使用許可取得</li> <li>・行政財産使用料などコストの分担方法</li> </ul>

■ データを可視化するためにまとめたグーグルマイマップに対し、P T 事業者からヒアリングした内容を更に追加し、以下のとおりまとめた。

**バス**

周辺停留所数 89

資源PT内の評価

- イオンモール 現状最も有効
- 幕張海浜公園 エリア内循環ルートに加えるのが最適
- 湯葉の里 夜の時間に増やしたい・コストが高い・施設～駅間のみが現状課題

アパホテル(駅直結型)

ホテル室 (8:00,20:40, 9:00,20:40, ) 10:20:40, 11:00,20:40  
毎日 ¥ 無料

湯葉の里(駅直結型)

10:00~17:45 往復ともに約30分間隔 13往復  
毎日 ¥ 無料

マイマップ

青点=路線バス停留所  
ピンク圈=イオンモール  
赤茶色の線=各施設の送迎バス  
緑線=路線バス主要ルート

**周辺駐車場**

右回アイコン数 45

千葉市オープンデータ [リンク](#)

参考HP [グーグルマップ検査](#)

無料時間あり

- イオンモール
- イオンベイパーク
- 湯葉の里

資源PT内の評価

- イオンモール 周辺道路の渋滞・特定日に満車となる
- 湯葉の里 台数が少ない・送迎車が多い
- 幕張海浜公園 駐車場が少ない
- マリンスタジアムなど周辺施設 送迎機能・台数とも適合は不十分

マイマップ

主な施設HPで紹介の駐車場  
=濃赤色アイコン

**千葉市シェアサイクル**

美浜区内ポート数 139

千葉市オープンデータ [リンク](#)

事業者HP [HELLO CYCLING](#)

参考サイト [RYDE CYCLE](#)

資源PT内の評価

- イオンモール 気象条件次第だが
- 湯葉の里
- 幕張海浜公園 回遊性に有効
- マリンスタジアムなど周辺施設

マイマップ

ポート=オレンジ自転車アイコン



2020マリンスタジアム  
千葉マリンスタジアム

2020マリンスタジアム  
千葉マリンスタジアム

Google My Maps

## 今後（2022年度～）の検討事項

モビリティの利活用を進めるため、2021年度のP Tの取組みをベースに、2022年度も「回遊性の向上」及び「モビリティ資源の最適化・共有化」に向けた取組みをより加速化させていく。

### （回遊性の向上に向けた取組み）

- 2022年度に予定されているMaaS実証実験について、実施に伴い回遊性の観点から分析を行う。  
また、分析の結果、必要に応じてコンテンツ案やモビリティ案についてブラッシュアップした取組みの提案を行ったり、取組みの継続可否も検討したりする。
- 実証実験案から見えてきた課題を検討するとともに、持続可能なシステムとするための議論を行う。

### （モビリティ資源の最適化・共有化に向けた取組み）

- 2021年度にP Tでまとめたモビリティ資源の最適化・共有化の具体案（素案）を基に、実現に向けて対外的な調整を開始し、既存バスの改善実施やモビリティステーション用地の確保などに取り組む。